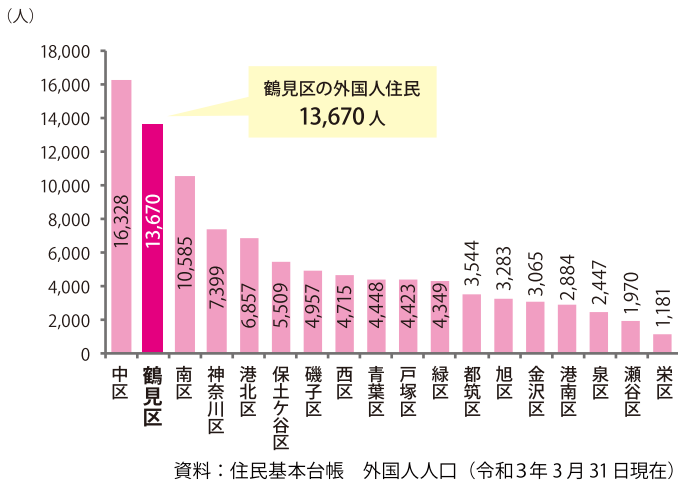


3 外国人住民

● 区別外国人住民

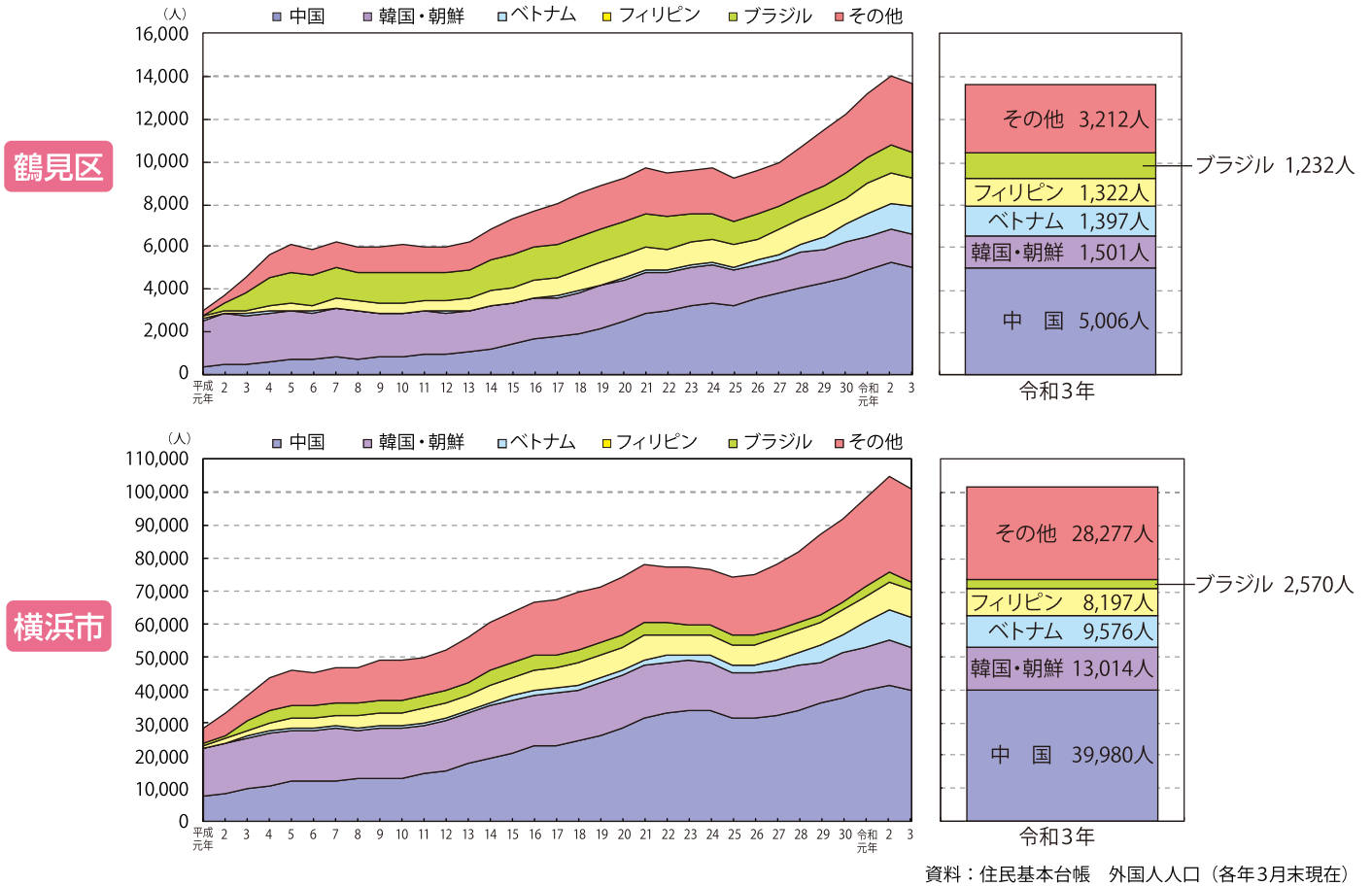


令和3年3月31日現在の鶴見区の外国人住民数は13,670人です。（前年より332人減少）これは中区に続いて市内2番目の多さとなっています。国籍別にみると、中国、韓国・朝鮮、ベトナム、フィリピン、ブラジルの順に多くなっています。横浜市全体と比べると、鶴見区はブラジル国籍の構成比が大きいですとが分かります。

鶴見区は、外国人児童数（※）が545人で、18区で一番多いよ！
 ※ 市立小学校に通う外国人児童の数
 資料：横浜市教育委員会「市立学校現況」（令和3年5月1日現在）



● 国籍別外国人住民数の推移



地図で見る鶴見 ～人口密度～

鶴見区内で人口密度の高い町は、尻手一丁目、尻手三丁目、市場上町、市場富士見町、矢向五丁目などです。また、鶴見駅周辺と、川崎市との市境の人口密度が高い傾向にあります。

資料：住民基本台帳（令和3年3月31日現在）

